

マーケット

日本コエンザイムQ協会設立 国内での知識の普及と啓発を目指す

コエンザイムQに関する正しい知識の普及と、それに必要な科学研究を奨励することを趣旨とした日本コエンザイムQ協会が11月1日に設立された。

主な事業活動は、①コエンザイムQに関する正しい知識の普及と啓発。②研究の助成、奨励および研究業績の表彰。③講演会、研究会、イベントの開催。ニュースレター、会誌、図書の発行など、コエンザイムQに関連する幅広い活動を行う。

理事長には東京大学大学院工学系研究科・山本順寛助教授が就任。副理事長に、神戸学院大学薬学部・紀氏健雄部長、理事に中村哲也氏の他11名が名を連ねる。

11月6日に東京都千代田区のアーバンネット大手町ビルで行われた日本コエンザイムQ協会記者発表会で、山本同協会理事長は、「コエンザイムQは、ミトコンドリア内で行われるATP産生になくてはならない物質。また、ミトコンドリア以外の細胞内にも存在することから、抗酸化物質として作用していると考えている。年齢を重ねることによって、体内のコエンザイムQの量が減少していくことから、抗高齢化の切り札として期待できる」と語った。同協会理事の永田勝太郎理事は、医師の立場から、コエンザイムQの利点を述べ、26年間で20万人に投与した実績を紹介し、全人的医療の実現に向けて豊かな可能性がある」と述べた。同協会理事の府川秀明氏は、うっ血性心不全の治療薬の開発に従事し世界に先駆けて量産化に成功した開発経緯を紹介。「現在、コエンザイムQ10を製造し、世界中に供給できるのは、日本の企業だけである。国内での研究の強化と更なるエビデンスを広げていきたい」と語った。

1997年9月に国際コエンザイムQ10協会が設立され、2年に1度、最先端の試験結果が紹介されている（今年11月22、23日にロンドンで開催）。同協会は、この国際コエンザイムQ10協会の日本支部として設立され、2003年2月には、総会と講演会が予定されている。

問合せ先は、日本コエンザイムQ協会事務局：東京都千代田区一番町23-3、日本生命一番町ビル4F（株）アイ・エス・エスコンベンション事業部内・寺岡まで。TEL 03-3230-4433、FAX 03-3262-6633